

		音 楽 研 究 会		部 会 記 録	
日時	平成 29 年 9 月 6 日 (水) 15:30~16:45				
部会名	研修部 管楽器部会			主任	田中 亜由美
参加数	6名	司会	田中 亜由美	記録	石井 裕美
研 修 内 容	モデルバンド 中丸小学校金管特設クラブブルーエンジェルス 講師：菊名小学校 小黒裕子先生				
	<p><研修></p> <p>① 基礎練習による指導 息をたくさん吸う。背中から吸う。自分の頭の後ろにも息が通っている気持ちでふく。 ・パート別 ハイB♭で8拍のばす→マウスピースだけで8拍のばす→力まず、やさしい音で8拍のばす</p> <p>② 現在練習中の曲による指導 「音をきれいにしたい」という子どもたちの目標のもと、『名探偵コナン』を演奏。立ってふく。遠くにとばす気持ちでふく。口をゆるめてふく。打楽器もメンバーで息を合わせる。</p> <p><指導者の田中亜由美先生より> 今年度は体育館新築工事に伴い、運動会が秋から5月になり、6月に新しいバンドをたちあげた。現在部員数は、87名。何年か前までは、人気がありすぎて、オーディションをしていた。親がやれと言ってやる子もいるので、なかなか練習に出てこない子どももいる。運動会では、マーチングドリルを行っているが、通常は座奏。立ってふくのを嫌がる子どももいる。朝練は、週2日の40分間。金管担当の児童は、プラスチックのマウスピースを全員購入し、持っている。(希望により、普通のマウスピースを購入)</p> <p><講師の先生より> ・基礎練習は、座ってやらず、立ってやる方がよい。音もよくなるし、姿勢や持ち方の矯正もできる。 ・人数が多いバンドは、一部のパートの指導をすると、待つ時間が長くなってしまうので、全体合奏時以外は、廊下や空き教室で練習するとよい。その際、音の確認は必要なので、鍵盤ハーモニカで音を合わせるようにする。 ・指導されたことを楽譜にすぐ書き込めるようにするとよい。 ・曲は、必ずしも始めから終わりまで完成させなくてもよい。途中カットすることや児童に見合うようにアレンジすることもあり。 ・6年生がいい音を出していたので、それをまねようと新入部員も頑張っふいていた。 ・人数が多いと、その中にうまい子、核になる子がいて、引っ張っていきやすいので、バンド全体がのびていく。</p>				

<その他、協議したこと>

選曲について

- ・マーチングでは、6分半も演奏するので、1年に1曲しか仕上げられない。
- ・児童がやりたいという曲は、パート紹介の時にふかせている。
- ・定番曲を2曲くらい作っておくとよい。ディズニーやジブリなら、流行りすたりがない。
- ・3年サイクルにしておくと、3年生からバンドをやっているところなら、6年になったときに一度やっているから、後輩たちに教えることができる。
- ・地域向けに、誰もが知っている曲を1曲必ず練習しておく。(毎年同じ曲)

練習日、練習時間が少ない

- ・読譜は練習時間外でしてくる。
- ・週末にできるだけ、楽器を持ち帰らせている。
- ・練習日以外も自主練習をしたい人は、早く来て練習してもいいことにしている。
- ・毎週、朝会の時の行進曲をふかさせてもらっている。(練習日以外も練習でき、準備や片付けも短時間で行わなければならないため、それらの時間がとてもすばやくなっているのので、練習日の練習時間も多く練習時間をしっかりとれる。)

その他

- ・指導したことがすぐに楽譜に書き込めるようにするため、スケッチブック(画用紙)に楽譜を貼るようにしているが、貼っていない場合、練習に滞りが生じるため、音楽室への入室を禁止している。